

令和8年度 国内肥料資源利用拡大アワード 審査基準

下表の取組区分における「共通」項目の小計配点を50点、「供給」、「製造」、「利用」、「連携支援」の各取組区分独自の評価項目における小計配点を15点とし、合計で65点を満点とします。順位は原料供給（以下、供給）、肥料製造（以下、製造）、肥料利用（以下、利用）、事業者間連携支援（以下、連携支援）の取組区分毎に合計点が高い順とし、上位から取組区分や事業規模のバランスを配慮しながら、審査委員会にて協議の上、1次受賞者候補を確定します。1次受賞者候補の中から各専門分野の委員により2次受賞者候補（各分野5～6件程度）を選定し、最終的に審査委員会にて受賞者候補を確定することとします。

取組区分	評価項目	評価の観点	配点	配点(小計)
共通	独自性・先進性	独自の工夫または先進的な特徴があるか。	10	50
	地域性・広域性	原料・肥料の供給先や調達先の近さ（地域内循環）、地域産業との連携や地域雇用の創出などに貢献する取組であるか。または広域で展開している取組であるか。	10	
	継続性	取組の継続年数(検討期間は含まず、実際に原料や肥料の供給、利用を開始してからの年数とする)実績はあるか。また、原料や肥料そのものの調達に安定性があるか。	10	
	経済性	取組を実施することで十分な経済効果(健全な運営が可能な収益)が生まれるか。	10	
	波及性	同業・他業問わず広く他の事業者の課題解決の参考となるような取組であるか。また、利用者の環境意識の醸成等の効果がある取組か。	10	
供給・製造	供給率(量)・製造率(量)・出荷率(量)	国内資源の全発生量のうち肥料原料として供給している割合や年間供給量、および肥料の全製造量のうち国内資源肥料の製造率や年間製造量はどのくらいか。加えて上記製造量のうち出荷した割合や量はどのくらいか。	5	15
	利便性・品質	肥料原料・肥料として使いやすい形で供給されているか。また、高品質（例：作物生育に良い効果を発揮する等）な肥料原料もしくは肥料であるか。	5	
	保管・臭気・安全対策	原料や堆肥の保管状況は適切であり、周囲に臭気の影響が無いように供給・製造されているか。また、作業員の労働環境の安全性に留意しているか。	5	
利用	削減率(量)・年間施肥量	従来の化学肥料や海外産肥料の削減割合や量および年間施肥量はどのくらいか。また、単位面積(10a)当たりの施肥量はどのくらいか。	5	15
	施肥体系の転換、散布の省力化・体制	実証・施肥基準の見直し等、適切なプロセスを踏まえているか。また、肥料を散布する際に効率化・省力化に繋がる工夫や地域内での連携体制等が取られているか。	5	
	ブランド化	国内資源肥料を利用した生産物の付加価値を消費者へPRしているか。	5	
連携支援	主体性	連携者間において応募者が主体的に運営、取り纏めを行っているか。または連携者間で応募者はどのような役割を担っているか。	5	15
	連携の継続性・実績	肥料供給事業者・肥料製造事業者・肥料利用者との連携体制の構築および協議の場は十分に設けられているか。また取組のPRの実績はあるか。	5	
	関係機関との調整等	肥料供給事業者・肥料製造事業者・肥料利用者以外の関係機関等とどのような調整を行っているか。また、運営を行うに当たってどのような工夫をしているか。	5	

※事業者間連携支援の区分における共通項目は国内資源肥料そのものについて他区分の記載例を参照の上、記載すること

また、賞の種類は以下の通りとする。

(1) 農林水産省 農産局長賞

国内肥料資源を堆肥化する取組又はそれを主原料とした肥料を生産・活用する取組のうち、特に優れていると認められるもの

(2) 農林水産省 畜産局長賞

家畜排せつ物を堆肥化等する取組又はそれを主原料とした肥料を生産・活用する取組のうち、特に優れていると認められるもの

(3) 国土交通省 上下水道審議官賞

下水汚泥を肥料化する取組又はそれを主原料とした肥料を生産・活用する取組のうち、特に優れていると認められるもの

(4) 国内肥料資源の利用拡大に向けた全国推進協議会 奨励賞

応募された取組のうち、審査基準を満たす中でも優れていると認められるもの

以上